

# 日中常用漢字字形の比較研究

A Comparative Study of the Shapes  
of Japanese and Chinese kanji in common use

馬 鳳如  
Fengru Ma

## サマリー

同属漢字文化圏の日中兩國漢字在形体上的差异也是很明显的。由于兩國在文字改革的目的和途径不尽一致，使得原本相同的漢字在近几十年内产生这样那样的分歧也是必然的。本文从整理《日本常用漢字表》中的1945个漢字入手，將表中漢字与中国现代汉语新字形（以1965年1月30日中华人民共和国文化部和中國文字改革委员会联合发布的《印刷通用漢字字形表》为标准）逐一加以对比、分析、归类，尽量具体地揭示出兩國漢字的对应关系。希望能对日本学生的汉语学习以及中国学生的日语学习提供一点帮助。

本文把兩國漢字分作7类，重点比较分析了其中的相似的、中国简化日本未简化的、日本简化中国未简化的、兩國作不同形式简化的以及异体字等5类。

漢字は世界史上最も古い文字の一つで、数千年使用され続け現在まで至っている唯一の文字である。文化圏の角度から見れば、東洋には漢字文化圏が存在し、漢字及び漢字文化が常にこの文化圏をつなぎとめる紐帯であった。しかし、近代にいたり様々な要因からこの文化圏に大きな変化が生じた。漢字の使用状況からは、次の6種の類型に分類できる。

- ベトナム：完全に漢字の使用をやめ、ローマ字に改めた。
- 朝鮮：漢字の使用をやめ、ハングルに改めた。
- 韓国：基本的に漢字の使用をやめ、ハングルに改めた。
- 日本：漢字の使用を制限し、字形を変え、漢字と仮名を併用している。
- 中国大陸：大幅に字形を変え、簡体字を普及させた。
- 香港台湾：漢字が従来のまま保持され、字形も基本的には変化していない。

変化が最も大きいのがベトナム、朝鮮、韓国の3国で、漢字が長期にわたり果たしてきた文献を記録するという役割をなくしてしまった。今後、専門家以外は歴史的文献を読むのが困難となり、日本人や中国人と筆談することも難しくなるだろう。変化が最も小さいのが香港台湾地区で、中国大陸や日本はともに字形を変化させた。

総じて言えば、長期にわたり漢字使用を堅持しているのは日中兩國のみとなった。このため、漢字や漢

字文化は中国や日本にとって特に重要な意味をもつ。数千年来、兩國の人々の生産活動や生活において、漢字は何ものにも代えることの出来ない大きな役割を果たしてきた。言語のみならず、歴史、文化、思想、政治、経済など多くの分野できわめて大きな影響力を持った。

漢字は発展するものである。字形を見るだけでも、甲骨文字、金文から篆書、さらに篆書、隸書から楷書へと、大きく変化している。日中兩國の字形の差異も変化のあらわれと言えるが、文字改革の流れが異なったため、もともとは同じであった兩國の漢字に、ここ数十年でかなり大きな違いが生まれ、互いに識別できない漢字や似ているが違うという漢字も多く見られる。学生が中国語学習を進める際に混乱し、学生の作文にはよく‘藏’‘广’‘战’を‘蔵’‘広’‘戦’と書くなどの誤りが見られる。

本文では、学生たちが正しく中国語の漢字を使えるようにするため、日中兩國の漢字（特に常用漢字）についての比較分析を行い、兩國の漢字字形の類型の特徴を明らかにする。

表1. 常用漢字と中国漢字の比較表

	種類	字数 (%)
1	同じもの	1054 (54.2%)
2	似ているもの	192 (9.9%)
3	中国は簡体字となり, 日本では従来のままのもの	409 (21%)
4	日本では簡略化され, 中国では従来のままのもの	58 (3%)
5	異体字	60 (3%)
6	簡略化の形式が異なるもの	165 (8.5%)
7	日本の国字	7 (0.4%)
	合計	1945 (100%)

### 1. 日本の常用漢字と現在の中国語漢字の関係

1981年(昭和56年)10月1日日本政府が出した『常用漢字表』で、『当用漢字表』を基準とする漢字使用を制限する時代が終わり, 漢字使用の目安を示すことになった。『常用漢字表』には, 1945の常用漢字の字種, 字形, 音訓, 用例が示されている。

常用漢字と現在の中国語漢字の関係については, すでにいろいろな角度から分析が行われているが, 大まかなものが多く, 特に学生の学習に有益なものは少ない。本文では『常用漢字表』の1945字について, 一つずつ現在の中国語の漢字と対比分析を行い, 類型に分け, 日中の漢字の対応関係を示していく。各表の漢字の配列は中国語発音表記のアルファベット順とした。

筆者は, 1945の日本常用漢字と現在の中国語の漢

字(1965年中華人民共和国文化部と中国文字改革委員会が共同で出した『印刷通用漢字字形表』を基準にする, 以下, 中国漢字とする)の対比を行い, 表1のような結果を得た。

同じもの, 似ているものが1246字あり, およそ3分の2をしめる。これらの漢字については, 読み書きに, 両国とも大きな障害はない。全く相手のことばがわからなくても, 簡単な交流なら筆談で行うことができる。まさに「漢字は日中両国国民が感情や関係を伝え合う紐帯であり, 中華民族と日本民族の共同財産である」といえる。

表中の第1類, 第7類(同じもの及び日本の国字)は割愛し, 以下, 第2~6類について具体的に比較分析していく。

## 2. 似ている漢字

この類型には 192 字が含まれる（表 2）。

表 2. 似ている漢字比較表

番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字
1	般	般	65	魂	魂	129	深	深
2	搬	搬	66	既	既	130	甚	甚
3	坂	坂	67	肩	肩	131	慎	慎
4	板	板	68	建	建	132	省	省
5	版	版	69	健	健	133	誓	誓
6	邦	邦	70	降	降	134	瞬	瞬
7	包	包	71	郊	郊	135	似	似
8	胞	胞	72	角	角	136	酸	酸
9	抱	抱	73	叫	叫	137	随	随
10	卑	卑	74	解	解	138	唆	唆
11	悲	悲	75	今	今	139	所	所
12	碑	碑	76	警	警	140	炭	炭
13	鼻	鼻	77	究	究	141	探	探
14	陛	陛	78	巨	巨	142	唐	唐
15	弊	弊、敝	79	拒	拒	143	糖	糖
16	遍	遍	80	具	具	144	陶	陶
17	別	别	81	距	距	145	天	天
18	舶	舶	82	卷	卷	146	添	添
19	部	部	83	俊	俊	147	廷	廷
20	才	才	84	郡	郡	148	庭	庭
21	蚕	蚕	85	慨	慨	149	艇	艇
22	差	差	86	勘	勘	150	屯	屯
23	茶	茶	87	堪	堪	151	外	外
24	抄	抄	88	空	空	152	湾	湾
25	臣	臣	89	控	控	153	晚	晚
26	触	触	90	郎	郎	154	微	微
27	船	船	91	廊	廊	155	舞	舞
28	垂	垂	92	冷	冷	156	限	限

29	淡	淡	93	劣	劣	157	象	象
30	低	低	94	陵	陵	158	像	像
31	抵	抵	95	零	零	159	邪	邪
32	邸	邸	96	令	令	160	写	写
33	底	底	97	炉	炉	161	信	信
34	都	都	98	旅	旅	162	修	修
35	反	反	99	冒	冒	163	靴	靴
36	返	返	100	帽	帽	164	芽	芽
37	防	防	101	魅	魅	165	雅	雅
38	房	房	102	免	免	166	言	言
39	非	非	103	勉	勉	167	延	延
40	扉	扉	104	秒	秒	168	炎	炎
41	肺	肺	105	妙	妙	169	沿	沿
42	改	改	106	魔	魔	170	以	以
43	概	概	107	念	念	171	益	益
44	敢	敢	108	虐	虐	172	因	因
45	港	港	109	俳	俳	173	吟	吟
46	割	割	110	排	排	174	印	印
47	隔	隔	111	派	派	175	悠	悠
48	宮	宮	112	判	判	176	娛	娛
49	孤	孤	113	泡	泡	177	隅	隅
50	骨	骨	114	陪	陪	178	虞	虞
51	雇	雇	115	偏	偏	179	与	与
52	拐	拐	116	瓶	瓶	180	誉	誉
53	鬼	鬼	117	契	契	181	院	院
54	郭	郭	118	切	切	182	障	障
55	害	害	119	琴	琴	183	真	真
56	含	含	120	囚	囚	184	直	直
57	航	航	121	圈	圈	185	值	值
58	弧	弧	122	忍	忍	186	植	植
59	戸	户	123	刃	刃	187	殖	殖
60	花	花	124	融	融	188	窒	窒
61	滑	滑	125	扇	扇	189	置	置
62	化	化	126	商	商	190	舟	舟
63	換	換	127	少	少	191	阻	阻
64	喚	喚	128	舍	舍	192	罪	罪

ちょっと見ただけでは違いがないように見えるが、細かく見ると小さな違いがあることに気づく。違いは大別すると、9種となる。

(例に挙げた字は、左が日本の常用漢字、右が中国漢字である)

(1) 常用漢字が横棒、中国漢字が点。上部、中間、下部に分類できる。

① 上部にある横棒と点

戸部：戸——戶 炉——爐 房——房  
扉——扉 雇——雇 扇——扇  
扁——扁 偏——偏 遍——遍  
言部：信——信 警——警 誓——誓

② 中間にある横棒と点

今部：今——今 念——念 吟——吟  
含——含 令——令

③ 下部にある横棒と点

氐部：低——低 底——底 抵——抵  
邸——邸

(2) 常用漢字が縦棒、中国漢字が点。

舟部：舟——舟 船——船 舶——舶  
般——般 搬——搬

(3) 常用漢字が右はらい、中国漢字が点。

炎益等：炎——炎 淡——淡 益——益  
(上の火の最後、皿の上の最後)  
因囚等：因——因 囚——囚  
(かまえの中の犬、人の最後)

(4) はじめが、常用漢字は横棒で、中国漢字は左はらい。

反部：反——反 返——返 板——板  
坂——坂 版——版

これと反対の場合もあるが、非常に少ない。

例：屯——屯

(5) 常用漢字は曲がり、中国漢字はまっすぐなもの(点を含む)。

① 直類：直——直 值——值 植——植  
殖——殖 置——置

“直”の最後は、常用漢字では直角に曲がり、中国の旧字体と同様であるが、中国の新字体は横棒のみである。

② 穴類等：空——空 控——控 突——突  
究——究 窒——窒 深——深  
探——探

③ 冂類：商——商

④ 夂夂類：陵——陵 凌——凌 俊——俊  
酸——酸

⑤ 甚鬲類：甚——甚 堪——堪 勘——勘  
融——融

上の②～⑤では、常用漢字の“儿”が、中国漢字では左右への2つの点となっている。

(6) 常用漢字が縦棒と左はらいで、中国漢字が縦棒のみ。

主に非及び非が旁となっているもの

例：非——非 排——排 俳——俳

少数の例外(反対)もある

例：判——判

(7) 木、少の縦棒にはねがつくか、つかないか。

常用漢字では少につき、木につかないが、中国漢字では反対。

茶——茶

少——少 秒——秒 妙——妙 抄——抄

劣——劣

(8) 筆画の長短、形状、方向に違いがあるもの。

① 包類：包——包 胞——胞 抱——抱  
泡——泡

(“包”は、常用漢字では口が閉じられないが、中国漢字では閉じる)

② 刃外類：刃——刃 忍——忍 外——外

(点とはらい、点と縦棒が、常用漢字では交差するが、中国漢字では交差しない)

③ 与類：与——与 写——写

(与の最後の横棒は、日本語は長く、中国語は短い)

④ 另類：別——別 拐——拐

(別の口の下が、日本語は刀で、中国語は力)

⑤ 化類：化——化 花——花 靴——靴

(化の右は、日本語は交差しないが、中国語は交差する)

⑥ 天垂類：天——天 垂——垂

(天のはじめと垂の終わりの横棒2本の長短が違う)

⑦ 唐角害類：唐——唐 角——角 害——害  
割——割

(中間の縦棒の長さが違い、中国語は長く、つきでるが、日本語はつきでない)

⑧ 冒類：冒——冒 (上の冂の最後の横棒2本が日本語は両側につくが、中国語はつかない)

⑨ 具類：具——具 (中間の横棒が中国語では上部につくが、日本語はつかない)

⑩ 骨舍類：骨——骨 舍——舍 (筆画の方向が反対)

⑪ 虐類：虐——虐 (下の中間の横棒は、中国

語は長く、日本語は短い)

(9)部首(偏や旁)は同じだが、画数や筆順が異なるもの

鬼：日本語10画 中国語9画

臣：日本語7画 中国語6画

免：日本語8画 中国語7画

次の字は外形からは区別が難しいが、実際には違いがある。左が日本語で、右が中国語である。

○卩類19字：

邦——邦 部——部 都——都 郭——郭

郊——郊 郡——郡 郎——郎 廊——廊

陞——陞 防——防 降——降 陪——陪

随——随 陶——陶 限——限 隅——隅

院——院 障——障 阻——阻

(こざとへん、おおざと：日本語3画、中国語2画)

○廴類2字：

建——建 健——健

(えんによ：日本語3画、中国語2画)

○牙・𠂔・舛類等8字：

邪——邪 芽——芽 雅——雅 既——既

概——概 慨——慨 舞——舞 瞬——瞬

(牙、𠂔：日本語5画、中国語4画；舛：日本語7画、中国語6画)

○鬼免卑等12字：

鬼——鬼 魂——魂 魅——魅 魔——魔

免——免 勉——勉 晚——晚 象——象

像——像 卑——卑 碑——碑 差——差

(中国の新字体では、かまえの中の縦棒とかまへの外の左はらいがつながり、1画となったが、日本語は2画のままなので、画数や筆順に違いが生まれた)

○匚類4字：

臣——臣 巨——巨 拒——拒 距——距

(匚：日本語は3画(2画の場合もある：区医)で、中国語は2画。筆順も異なる)

○瓦瓜類等5字：

瓶——瓶 弧——弧 以——以 似——似

印——印

(瓦：日本語5画、中国語4画；瓜：日本語6画、中国語5画；以印の左は、日本語では順に3画、4画だが、中国語では2画、3画である)

以上の分析を通して、これらの類型の中から中国漢字と常用漢字の関係を以下のように概括できる。

第一、中国漢字は‘点’の使用が多い。上述の1～5類のように、常用漢字の横棒、縦棒、左はらい、右

はらいが、‘点’になっているものがある。

第二、字形が同じだが、画数や筆順が異なるものがある。第9類のように“卩”が日本語では3画、中国語では2画、“𠂔”が日本語では3画、中国語では2画、“牙”、“𠂔”が日本語では5画、中国語では4画、“鬼”、“象”、“免”、“卑”、“差”等では、左はらいとかまえの中の縦棒がつながり、上下を貫く長い左はらいとなっている。画数が減り、筆順も変化している。

これらの漢字については、画数や筆順に小さな違いあるだけなので、判読には何ら問題は生じないだろう。日本人も中国人も相手方の漢字を読み誤ることはないだろうし、またどちらが自国の字なのか区別できないこともある。じっくりしない時も、‘異体文字’と判断して解釈するだろう。

これらの違いが生じた理由について、筆者は次のように考える。

1. 中国漢字は大幅に簡略化されたのに対し、日本語では基本的に原型を保っているため、中国漢字の画数は常用漢字より少ない。1958年以降、中国では多くの部首が簡略化され、それに伴い、字体の類型別の簡略化が進んだが、日本では簡略化はわずかであった。

2. 手書きにより不一致が生まれた。字を書くとき、筆画がある時は長く、ある時は短くなったりする。同じ人間が書いても、はらいの長さが違うことはある。“因益囚”と“因益囚”では、どちらが中国語で、どちらが日本語なのかは大変見分けにくい。これらの微細な違いは、肉眼ではわからないが、虫眼鏡で細かく見たらやっと識別できるほどのものである。また、字を書くとき、往々にして1画多かたり、少なかつたりすることがある。小中学生の作文の中にけっこう誤字がある。厳格な教師が、生徒が一字違えるたびに十回書かせても子供たちはまた誤って書くことが多い。子供たちにとどまらず、高名な書道家の作品にも規範に合っていない字体があるが、これは芸術の範疇にあると言えよう。

### 3. 中国では簡略化され、日本では簡略化されていない漢字

この種類の字は409字あり、常用漢字の21%強で、891字ある日中で異なる字体をもつ漢字の45.9%を占める。占める割合が大きいため、ややもすると「中国漢字は基本的に簡略化され、日本漢字は簡略化されていない」という印象を持たれやすい。確かに中国漢字の簡略化は数量的に日本よりはるかに多く、字体構造の変化も大きい。(表3参照)

表3. 中国では簡略化され、日本では簡略化されていない漢字比較表

番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字
1	愛	爱	138	堅	坚	275	訴	诉
2	罷	罢	139	間	间	276	孫	孙
3	敗	败	140	監	监	277	損	损
4	頒	颁	141	繭	茧	278	縮	缩
5	飽	饱	142	簡	简	279	鎖	锁
6	報	报	143	見	见	280	態	态
7	貝	贝	144	漸	渐	281	談	谈
8	備	备	145	薦	荐	282	壇	坛
9	輩	辈	146	艦	舰	283	曇	曇
10	筆	笔	147	鑑	鉴	284	湯	汤
11	閉	闭	148	講	讲	285	討	讨
12	幣	币	149	絞	绞	286	膳	膳
13	編	编	150	矯	矫	287	騰	腾
14	標	标	151	較	较	288	題	题
15	鉢	钵	152	階	阶	289	銅	铜
16	補	补	153	結	结	290	統	统
17	財	财	154	節	节	291	頭	头
18	倉	仓	155	詰	诘	292	塗	涂
19	側	侧	156	緊	紧	293	頑	顽
20	測	测	157	進	进	294	網	网
21	層	层	158	鯨	鲸	295	違	违
22	産	产	159	驚	惊	296	維	维
23	長	长	160	鏡	镜	297	偉	伟
24	腸	肠	161	競	竞	298	緯	纬

25	償	偿	162	糾	纠	299	衛	卫
26	場	场	163	劇	剧	300	紋	纹
27	車	车	164	絹	绢	301	聞	闻
28	徹	彻	165	絶	绝	302	問	问
29	陳	陈	166	軍	军	303	渦	涡
30	誠	诚	167	開	开	304	無	无
31	懲	惩	168	課	课	305	務	务
32	喫	吃	169	墾	垦	306	誤	误
33	衝	冲	170	懇	恳	307	霧	雾
34	銃	銃	171	庫	库	308	習	习
35	醜	丑	172	誇	夸	309	襲	袭
36	礎	础	173	塊	块	310	璽	玺
37	創	创	174	寬	宽	311	細	细
38	錘	锤	175	濫	滥	312	係	系
39	純	纯	176	離	离	313	轄	辖
40	詞	词	177	裏	里	314	鮮	鲜
41	賜	赐	178	隸	隶	315	閑	闲
42	錯	错	179	麗	丽	316	賢	贤
43	達	达	180	連	连	317	銑	铣
44	貸	贷	181	糧	粮	318	現	现
45	誕	诞	182	療	疗	319	憲	宪
46	島	岛	183	隣	邻	320	詳	详
47	導	导	184	臨	临	321	項	项
48	敵	敌	185	賃	赁	322	協	协
49	締	缔	186	鈴	铃	323	脅	胁
50	電	电	187	領	领	324	謝	谢
51	釣	钓	188	虜	虏	325	興	兴
52	調	调	189	陸	陆	326	許	许
53	頂	顶	190	録	录	327	緒	绪
54	訂	订	191	緑	绿	328	軒	轩
55	錠	锭	192	慮	虑	329	懸	悬
56	東	东	193	倫	伦	330	選	选
57	凍	冻	194	輪	轮	331	尋	寻
58	動	动	195	論	论	332	訓	训
59	篤	笃	196	羅	罗	333	顏	颜



60	鍛	锻	197	絡	络	334	揚	扬
61	隊	队	198	馬	马	335	陽	阳
62	鈍	钝	199	買	买	336	養	养
63	奪	夺	200	貿	贸	337	葉	叶
64	額	额	201	門	门	338	業	业
65	餓	饿	202	夢	梦	339	遺	遗
66	閥	阀	203	綿	棉、绵	340	儀	仪
67	罰	罚	204	滅	灭	343	義	义
68	煩	烦	205	鳴	鸣	341	億	亿
69	販	贩	206	銘	铭	342	憶	忆
70	飯	饭	207	謀	谋	343	議	议
71	範	范	208	畝	亩	344	陰	阴
72	紡	纺	209	納	纳	345	銀	银
73	訪	访	210	擬	拟	346	飲	饮
74	飛	飞	211	鳥	鸟	347	擁	拥
75	費	费	212	寧	宁	348	憂	忧
76	紛	纷	213	農	农	349	優	优
77	墳	坟	214	濃	浓	350	郵	邮
78	憤	愤	215	諾	诺	351	猶	犹
79	奮	奋	216	盤	盘	352	誘	诱
80	風	风	217	賠	赔	353	魚	鱼
81	縫	缝	218	噴	喷	354	漁	渔
82	膚	肤	219	貧	贫	355	語	语
83	負	负	220	頻	频	356	預	预
84	婦	妇	221	評	评	357	獄	狱
85	復	复	222	撲	扑	358	諭	谕
86	複	复	223	僕	仆	359	員	员
87	賦	赋	224	譜	谱	360	園	园
88	該	该	225	騎	骑	361	遠	远
89	乾	干	226	棄	弃	362	願	愿
90	紺	紺	227	啓	启	363	約	约
91	幹	干	228	鉛	铅	364	閱	阅
92	剛	刚	229	遷	迁	365	躍	跃
93	綱	纲	230	謙	谦	366	雲	云
94	鋼	钢	231	橋	桥	367	運	运

95	閣	阁	232	親	亲	368	韻	韵
96	個	个	233	傾	倾	369	雜	杂
97	箇	个	234	請	请	370	載	载
98	貢	贡	235	慶	庆	371	暫	暂
99	溝	沟	236	窮	穷	372	則	则
100	構	构	237	確	确	373	責	责
101	購	购	238	熱	热	374	賊	贼
102	顧	顾	239	認	认	375	詐	诈
103	館	馆	240	軟	软	376	債	债
104	貫	贯	241	銳	锐	377	張	张
105	慣	惯	242	潤	润	378	帳	帐
106	規	规	243	傘	伞	379	脹	胀
107	軌	轨	244	喪	丧	380	詔	诏
108	貴	贵	245	繰	繰	381	貞	贞
109	過	过	246	掃	扫	382	針	针
110	賀	贺	247	殺	杀	383	偵	侦
111	嚇	吓	248	繕	繕	384	診	诊
112	紅	红	249	傷	伤	385	陣	阵
113	後	后	250	賞	赏	386	鎮	镇
114	護	卫	251	紹	绍	387	隻	只
115	華	华	252	設	设	388	織	织
116	話	话	253	紳	绅	389	執	执
117	還	还	254	審	审	390	職	职
118	環	环	255	勝	胜	391	紙	纸
119	緩	缓	256	聖	圣	392	製	制
120	揮	挥	257	師	师	393	質	质
121	輝	辉	258	詩	诗	394	終	终
122	賄	贿	259	時	时	395	鐘	钟
123	貨	货	260	識	识	396	種	种
124	禍	祸	261	視	视	397	衆	众
125	獲	获	262	試	试	498	軸	轴
126	穫	获	263	勢	势	499	諸	诸
127	機	机	264	飾	饰	400	貯	贮
128	積	积	265	適	适	401	駐	驻
129	級	级	266	書	书	402	築	筑

130	極	极	267	輸	输	403	墜	坠
131	給	给	268	術	术	404	準	准
132	幾	几	269	樹	树	405	濁	浊
133	計	计	270	帥	帅	406	資	资
134	紀	纪	271	順	顺	407	諮	咨
135	記	记	272	説	说	408	漬	渍
136	際	际	273	飼	饲	409	組	组
137	績	绩	274	訟	讼			

中国の『簡化字総表』と、中国では簡略化され、日本では簡略化されていない漢字

中国文字改革研究委員会（のちに中国文字改革委員会に改められる）は1952年から漢字簡略化の研究を進め、1955年1月『漢字簡化方案草案』をまとめた。『草案』では簡略化の方法の違いにより、3つの類型化をし、それぞれ表を用いて示した。第1表は『798の漢字簡略化表草案』で、これには筆画の簡略化に属するものを示し、第2表は『削除される400の異体字表草案』で、これには字数の簡略化に属するものを示し、第3表は『漢字の偏旁の書き方の簡略化表草案』で、これには書き方の簡略化に属するものを示している。

『草案』については広範な意見を聞き、また、北京、天津の40種の新聞、雑誌で試用された。1956年1月、第1表の『798の漢字簡略化表草案』をもとに、『漢字簡略化方案』が制定され、公布された。『漢字簡略化方案』には3つの表が含まれ、合わせて515の簡略化された文字と、54の簡略化された偏旁が示された。『国務院の漢字簡略化方案の公布に関する決議』には「1956年2月1日から全国の印刷、手書き文書では一律に用いることとし、古い書籍の復刻や特別の理由のある場合を除いては、印刷物における従来の繁体字の使用を停止するものとする」とある。第2表と第3表の漢字については「慎重を期するため、試用するものとする」とある。これらの簡略化文字については、1956年から1959年にかけて4度にわたり普及活動が行われた。

1964年文字改革委員会は『簡化字総表』を発表したが、これには『方案』のすべての簡略化文字が盛り込まれたが、一部の文字には修正が加えられ、併せて簡略化文字、偏旁の使用範囲について変更が行われた。『簡化字総表』には3つの表が含まれるが、第1表には偏旁とならない352の簡略化文字、第2表には偏

や旁として用いることのできる132の簡略化文字と簡略化された14の偏や旁、第3表には、第2表で示された簡略化文字、簡略化された偏や旁を使って、簡略化された1754字が、それぞれ収められている。漢字は字数が多いので、第3表ではすべてを列挙することができず、『新華字典』に掲載されている漢字の範囲内にとどめた。そのため、第3表に入らなかった文字も、第2表の簡略化にしたがって、簡略化しなければならない。

本文では「中国では簡略化され、日本では簡略化されていない漢字」と『簡化字総表』の第1、2表を比較したが、第1表と対応する文字は107で、その特徴は、中国簡体字≠繁体字=日本漢字であった。

報—報 幣—币 標—标 補—补 層—层 導—导  
敵—敌 電—电 奪—夺 範—范 飛—飞 墳—坟  
奮—奋 膚—肤 婦—妇 復—复 複—复 乾—干  
個—个 溝—沟 構—构 購—购 顧—顾 後—后  
護—护 還—还 環—环 獲—获 穫—获 積—积  
際—际 繭—茧 艦—舰 講—讲 階—阶 驚—惊  
競—竞 劇—剧 墾—垦 懇—恳 誇—夸 塊—块  
裏—里 隸—隶 糧—粮 療—疗 隣—邻 臨—临  
陸—陆 夢—梦 畝—亩 擬—拟 盤—盘 撲—扑  
僕—仆 啓—启 確—确 熱—热 認—认 傘—伞  
喪—丧 掃—扫 傷—伤 勝—胜 勢—势 適—适  
書—书 術—术 樹—树 態—态 壇—坛 膳—膳  
頭—头 塗—涂 網—网 衛—卫 務—务 霧—雾  
習—习 係—系 憲—宪 協—协 脇—胁 興—兴  
懸—悬 選—选 陽—阳 養—养 葉—叶 億—亿  
憶—忆 擁—拥 憂—忧 優—优 郵—邮 園—园  
遠—远 願—愿 躍—跃 運—运 雜—杂 隻—只  
鐘—钟 衆—众 築—筑 準—准 濁—浊

『簡化字総表』第2表の132字のうち、「中国では簡略化され、日本では簡略化されていない漢字」と対応する文字は、次の51字であった。

愛—爱 罷—罢 貝—贝 備—备 筆—笔 倉—仓  
 産—产 長—长 車—车 達—达 東—东 動—动  
 隊—队 風—风 過—过 華—华 幾—几 監—監  
 見—見 薦—荐 節—节 進—进 離—离 麗—麗  
 録—录 慮—慮 羅—罗 馬—马 買—买 門—門  
 鳥—鳥 寧—宁 農—农 遷—迁 親—亲 窮—窮  
 殺—杀 審—审 聖—圣 師—師 時—時 孫—孫  
 無—无 尋—寻 業—業 義—義 陰—陰 魚—魚  
 雲—云 執—執 質—質

第2表の14の簡略化された偏旁について、日中で比較してみると、3種類に分類できる。

第1類 中国では簡略されたが、日本では簡略されていないもの

言→讠, 食→饣, 糸→纟, 金→钅, 易→彳,

収→収, 戠→只, 冎→冎

特徴は、中国簡体字偏旁≠繁体字偏旁=日本漢字偏旁である。

第2類 簡略の仕方が異なるもの

冫←氵→冫 (栄・榮・榮), 尺←罒→彳 (沢・澤・澤), 圣←聖→亻 (経・經・经), 亦←辶→亦 (恋・戀・恋)

特徴は、中国簡体字偏旁≠繁体字偏旁≠日本漢字偏旁であるが、日本語での使用範囲は狭い。

第3類 日中両国で同じ簡略化を行っているもの。灬(灬)のみである。

覺學(繁)→觉学(中)一覚学(日)

特徴は、繁体字偏旁≠中国簡体字偏旁=日本漢字偏旁である。

『簡化字総表』第3表には第2表の簡略化文字、簡略化された偏や旁を応用した1754字が収められているが、その多くは常用漢字に含まれず、あったとしても日本では簡略化されていない。

表4. 日本で簡略化され、中国で簡略化されていない漢字比較表

番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字
1	拔	拔	21	海	海	41	剩	剩
2	扌	扌	22	喝	喝	42	搜	搜
3	薄	薄	23	褐	褐	43	髓	髓
4	博	博	24	黒	黑	44	碎	碎
5	弁	瓣 辨 辩	25	悔	悔	45	穂	穗
6	歩	步	26	恵	惠	46	突	突
7	簿	簿	27	姫	姬	47	侮	侮
8	蔵	藏	28	仮	假	48	溪	溪
9	挿	插	29	掲	揭	49	陥	陷
10	巢	巢	30	渴	渴	50	薰	薰
11	臭	臭	31	戾	戾	51	揺	摇
12	粹	粹	32	隆	隆	52	壺	壺
13	稲	稻	33	梅	梅	53	逸	逸
14	徳	德	34	毎	每	54	勇	勇
15	毒	毒	35	敏	敏	55	予	豫
16	繁	繁	36	墨	墨	56	増	增
17	仏	佛	37	黙	默	57	憎	憎
18	敷	敷	38	器	器	58	酔	醉
19	扌	拂	39	勤	勤			
20	缶	罐	40	僧	僧			

#### 4. 日本で簡略化され、中国で簡略化されていない漢字

この種の漢字は、日本では簡略化が進められたが、中国では簡略化されていない。全部で58字、1945の常用漢字に占める割合は小さい（3%弱）が、特徴的なものが多い。（表4参照）

表4から、これらの常用漢字の簡略化は大きく6つにまとめられることがわかる。

1) もとの漢字から偏や旁、一部の筆画を除いたもので、4種に分類できる。

①半分除いたもの：藏→蔵 豫→予 罐→缶

②一点除いたもの：臭→臭 戾→戾 器→器  
突→突 逸→逸 渴→渴  
揭→揭 喝→喝 褐→褐

③横棒を一つ除いたもの：徳→德 隆→隆  
勤→勤

④横棒一つと一点を除いたもの：恵→恵  
穂→穂

2) 2つの点をひとつの線にしたもので、2種に分類できる。

①2つの点を横棒一つとしたもの

例：黒類や曾類の“口”の中の2点を横棒とする  
黒→黑 墨→墨 黙→默 薫→薰 増→増  
憎→憎

②二つの点を縦棒ひとつとしたもの

例：合体字の母の二つの点はすべて縦棒一つ。  
每→每 海→海 悔→悔 梅→梅 敏→敏  
侮→侮 毒→毒 繁→繁  
（“母”の字は2つの点のまま）

3) “白”類は“申”または“旧”の2種で表される。

①申となるもの：插→挿 搜→捜

②旧となるもの：稻→稻 陷→陥

4) “冫”“甫”類は“冫”“田”で表される。

薄→薄 博→博 簿→簿 敷→敷 勇→勇

5) “弗”“卒”類は“ム”“卒”で表される。

佛→仏 拂→払 碎→碎 醉→酔

6) いくつかの文字を併せたもの

日本語では、“瓣, 辨, 辯”の3文字を併せて、別に“弁”という字をつくり、これら3文字の代わりに使っている。

このほか、画数を減らして用いているものもある。  
例：“搖, 壺, 溪, 髓”を“揺, 壺, 溪, 髓”とする。

これらの漢字の特徴から以下のことがわかる。

まず、これらの漢字の簡略化は、主に筆画の簡略化であり、簡略化されたあとの日本漢字は、当然のこと

ではあるが、中国漢字より画数が少ない。1～2画の省略が半数以上を占める。

次に、日本漢字の簡略化は漢字の原型を保ちつつ小さな修正を加えたものである。画数を少なくして書く手間を減らしただけでなく、大体の原形をとどめているので、新たに文字判読の負担が生じることもない。総じて日本の簡略化も繁体から簡体に向かっているが、“歩”だけが例外で、画数が増え、止の下に一つ点が増え、“歩”が“歩”となった。字形を整える目的で行われたのだろうが、字義の解釈は逆に難しくなった。

第三に、判読についてだが、これらの字は中国漢字では原形をとどめているので、日本人には判読が容易であろう。反対に、中国人がこれらの字を見たとき、1)～4)類では筆画が少ないので誤字を書いているのだと思うだろうし、5)6)類では、似ているようで異なるので、奇妙な印象を持つだろう。ただ、字義を理解する上では、ほとんど問題はないはずである。

#### 5. 簡略化の形式が異なる漢字

表5「簡略化の形式が異なる漢字比較表」では165字について比較を行った。それぞれに日本の簡略化文字、繁体字（原形字）、中国簡体字の3種があり、原形字の繁体字を中央に日中双方の簡略化文字をそれぞれ左右においた。

表5. 簡略化の形式が異なる漢字比較表

番号	日本漢字	繁体字	中国漢字	番号	日本漢字	繁体字	中国漢字
1	辺	邊	边	84	嬢	嬢	娘
2	変	變	变	85	醸	釀	酿
3	賓	賓	宾	86	斉	齊	齐
4	浜	濱	滨	87	気	氣	气
5	残	殘	残	88	銭	錢	钱
6	禅	禪	禅	89	浅	淺	浅
7	称	稱	称	90	窃	竊	窃
8	遅	遲	迟	91	軽	輕	轻
9	歯	齒	齿	92	駆	驅	驱
10	処	處	处	93	権	權	权
11	伝	傳	传	94	勸	勸	劝
12	従	從	从	95	讓	讓	让
13	帯	帶	带	96	栄	榮	荣
14	単	單	单	97	騒	騷	骚
15	弾	彈	弹	98	渋	澀	涩
16	遞	遞	递	99	焼	燒	烧
17	読	讀	读	100	捨	捨	舍
18	対	對	对	101	撰	攝	摄
19	悪	惡	恶	102	縄	繩	绳
20	児	兒	儿	103	実	實	实
21	式	貳	貳	104	釈	釋	释
22	発	發	发	105	獣	獸	兽
23	髪	髮	发	106	糸	絲	丝
24	廃	廢	废	107	肅	肅	肃
25	豊	豐	丰	108	歳	歲	岁
26	穀	穀	谷	109	嘆	嘆	叹
27	関	關	关	110	鉄	鐵	铁
28	観	觀	观	111	庁	廳	厅
29	広	廣	广	112	聴	聽	听
30	観	觀	观	113	図	圖	图
31	帰	歸	归	114	団	團	团
32	漢	漢	汉	115	呉	吳	吴

33	画	畫	画	116	囿	圍	围
34	懷	懷	怀	117	穩	穩	稳
35	壞	壞	坏	118	犧	犧	牺
36	歛	歡	欢	119	織	織	纤
37	繪	繪	绘	120	險	險	险
38	擊	擊	击	121	顯	顯	显
39	鷄	雞	鸡	122	県	縣	县
40	飢	饑	饥	123	郷	鄉	乡
41	剂	劑	剂	124	響	響	响
42	濟	濟	济	125	曉	曉	晓
43	繼	繼	继	126	続	續	续
44	価	價	价	127	勲	勳	勋
45	儉	儉	俭	128	圧	壓	压
46	検	檢	检	129	亜	亞	亚
47	劍	劍	剑	130	塩	鹽	盐
48	踐	踐	践	131	嚴	嚴	严
49	奨	獎	奖	132	験	驗	验
50	将	將	将	133	様	樣	样
51	潔	潔	洁	134	謡	謠	谣
52	謹	謹	谨	135	薬	藥	药
53	茎	莖	茎	136	謁	謁	谒
54	経	經	经	137	芸	藝	艺
55	径	徑	径	138	訳	譯	译
56	挙	舉	举	139	駅	驛	驿
57	拠	據	据	140	隠	隱	隐
58	覚	覺	觉	141	応	應	应
59	殻	殼	壳	142	桜	櫻	樱
60	鉱	礦	矿	143	蛍	螢	萤
61	拡	擴	扩	144	営	營	营
62	欄	欄	栏	145	円	圓	圆
63	覧	覽	览	146	縁	緣	缘
64	劳	勞	劳	147	楽	樂	乐
65	塁	壘	垒	148	賛	贊	赞
66	涙	淚	泪	149	臓	臟	脏
67	類	類	类	150	択	擇	择

68	歴	歷	历	151	沢	澤	泽
69	曆	曆	历	152	贈	贈	贈
70	恋	戀	恋	153	齋	齋	斋
71	練	練	练	154	棧	棧	栈
72	鍊	煉	炼	155	戰	戰	战
73	兩	兩	两	156	徵	徵	征
74	獵	獵	猎	157	証	證	证
75	靈	靈	灵	158	滯	滯	滞
76	齡	齡	龄	159	塚	塚	冢
77	竜	龍	龙	160	鑄	鑄	铸
78	売	賣	卖	161	專	專	专
79	蛮	蠻	蛮	162	轉	轉	转
80	滿	滿	满	163	莊	莊	庄
81	難	難	难	164	總	總	总
82	惱	惱	恼	165	縱	縱	纵
83	腦	腦	脑				

これらの文字からは、日本の簡略化文字の方が中国の簡体字より繁体字により近いという印象を受ける。原因としては以下の5点が挙げられる。

(1) 日中の簡略化文字はともに簡単な符号を、もともとの偏や旁に代えて用いているが、具体的に見るとかなりの差異が見られる。例：

繁体字の“對, 觀, 歡, 權, 漢, 嘆, 難”等に対して、中国簡体字は一律に“又”の字を用いて偏や旁として“对, 观, 欢, 权, 汉, 叹, 难”等と表している。日本漢字にはこのような統一性がなく、多くが“对, 觀, 歡, 權, 漢, 難”のように、わずかな変化を加えているだけである。

同様に、繁体字の“巖, 戰, 獸 (二つの口), 營, 榮 (二つの火), 巢, 獵, 腦, 惱 (三つの冠), 櫻 (二つの貝) 及び“舉, 學”等の字が日本語ではすべて“ツ”で簡略化され、“巖, 戰, 獸, 營, 榮, 巢, 獵, 腦, 惱, 櫻, 举, 学”等と表されるが、中国語にはこのような統一性はない。

(2) 中国簡体字は大胆に偏や旁を省略することがあるが、日本漢字の多くは小さな筆画の省略で、大きな変化はない。

兒 → 儿 廣 → 广 擴 → 扩 氣 → 气 (中)  
 ↓ ↓ ↓ ↓  
 児 広 拡 気 (日)

郷 → 乡 類 → 类 塚 → 冢 總 → 总 (中)  
 ↓ ↓ ↓ ↓  
 郷 類 塚 総 (日)

(3) 中国簡体字には偏や旁を除いたあと、更に変形したり、簡略化したものがあるが、日本の簡略化は一種の方法を用いるだけであり、偏や旁を省略するか、変形や簡略化するかで、重複して簡略化することはほとんどない。

縣 → (県) → 县 顯 → (顯) → 显 (中)  
 ↓ ↓  
 県 顯 (日)

處 → (処) → 处 (中)  
 ↓  
 処 (日)

輕 → (輕) → 轻 饑 → (飢) → 饥 (中)  
 ↓ ↓  
 軽 飢 (日)

驅 → (驅) → 驱 (中)  
 ↓  
 駆 (日)

(4) 中国簡体字は、部首の形状を変えることがあるが、日本漢字には部首の基本的形状を重視する原則があり、この原則に基づき、省略できるものは省略し、



無理な省略は行わない。

賓 → 宾 遲 → 迟 遞 → 递 難 → 难 (中)  
 ↓ ↓ ↓ ↓  
 賓 遲 遞 難 (日)

懷 → 怀 縱 → 纵 藥 → 药 曆 → 历 (中)  
 ↓ ↓ ↓ ↓  
 懷 縱 藥 曆 (日)

(5) 中国では類推という方法で簡略化した偏や旁を適用して多くの簡体字を作り出したが、日本では類推という方法は用いられなかった。仮に類推が用いられていたとしても、常用漢字にとどまる。しかし中国では、350の偏旁となれない簡体字のほか、偏旁となれる簡体字(例：長→长, 車→车等)が132, 単独では字となれない簡略化した偏旁(例：ごんべん, しょくへん, いとへん, かねへん等)が14ある。これらの簡体字や簡略化した偏や旁で多くの簡体字をつくった。当然のことながら、判読において、人々に少なからぬ負担をもたらした。

そのほか、上述の165の漢字の画数を比較してみた。日本語では総画数が1969画で、一字あたり11.93画であったが、中国語では1377画で、平均8.35画であった。日本の漢字は平均して3.58画、中国簡体字より画数が多い。表に示すと下のようになる。

これらの漢字を子細に比較してみると、次のように分類できる。

比較項目	日本漢字	中国漢字	差
総画数	1969	1377	592
一字平均画数	11.93	8.35	3.58

表6. 異体字比較表

番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字	番号	日本漢字	中国漢字
1	霸	霸	21	菓	果	41	疎	疏
2	氷	冰	22	跡	迹	42	託	托
3	併	并	23	減	减	43	馱	驮
4	並	并	24	傑	杰	44	汚	污
5	採	采	25	淨	净	45	戲	戏
6	冊	册	26	決	决	46	線	线
7	查	查	27	況	况	47	効	效
8	沈	沉	28	頼	赖	48	咲	笑
9	乗	乘	29	瀬	濑	49	煙	烟

両国の画数が同じもの 20字  
 日本が中国より1画多いもの 25字  
 2画, 3画多いもの それぞれ 18字  
 4画多いもの 14字  
 5画多いもの 11字  
 6画多いもの 8字  
 7画多いもの 7字  
 8画多いもの 9字  
 9画多いもの 12字  
 10画以上多いもの 11字

反対に、日本の方が中国より画数が少ないものもあるが、“式(貳), 釈(释), 図(图), 拠(据), 桜(櫻), 賛(贊), 択(择), 売(卖), 満(满), 沢(泽)”のわずか12字である。

両国の簡略化の分析から、中国の簡略化は大鈍を振るい、大手術が行われたこと、日本の簡略化は補修を加えた程度の小さなものが多いことがわかる。そのため、日本の簡略化された字はかつて見たことがあるような印象を与え、中国の簡体字は全く別のものがあらわれたような印象を与える。

### 6. 異体字の問題

ここでいう異体字とは、中国から見たものを言うが、日本では一般にこのような表現は使わない。常用漢字表にはあわせて60の異体字がある。(表6参照)

10	恥	耻	30	涼	凉	50	窯	窑
11	勅	敕	31	脈	脉	51	異	异
12	沖	冲	32	傍	旁	52	詠	咏
13	窓	窗	33	砲	炮	53	遊	游
14	彫	雕	34	舗	铺	54	癒	愈
15	弔	吊	35	岐	歧	55	災	灾
16	疊	叠	36	碁	棋	56	搾	榨
17	鬪	斗	37	強	强	57	誌	志
18	倣	仿	38	砂	沙	58	週	周
19	雰	氛	39	昇	升	59	粧	妆
20	掛	挂	40	収	收	60	姉	姊

表6中の異体字の判読について、中国人の場合、すぐには何の字であるか分からないものもあるが、一般的には大きな誤解が生じることはない。普段、いろいろな時代に出版された中国の古典文献を見ていると、これらの異体字に何度となく出くわすことがあるからだ。何度も出くわせば文脈からも何の字であるかは判断できるようになる。しかし、日本人の場合、普段から中国の古典文献に触れることが少なく、異体字を見ることもほとんどないから、判読が困難であろう。そのほか、異体のレベルの問題だけではなく、繁体から簡体の変化の過程に関わるものもある。たとえば、「戲」は中国では「戲」の異体字とされるが、「戲」には「戏」という簡体字もある。同様に、「鬪」は、中国では「鬪」の異体字と見なされるが、「鬪」の簡体字は、升斗(ます)の「斗」と同じ字体になっている。

異なる時代の出版物には、異体字、俗字、規範に合わない漢字の使用が広く見られる。昭和43年(1968年)日本文化書房博文社から劉復とその弟子李家瑞の共著した『宋代以来の俗字譜』が出版された。本書は、宋代の『古烈女伝』、元代の『古今雜劇三十種』、明代の『岳飛破虜東窓記』、清代の『嶺南逸史』など12部の古典文献に見られる俗字を整理類型化し、八九百年代以降の俗字の変遷の過程を分析している。序には、「多くの俗字が一画か半画の違いなので、しっかり見ないと見落としてしまう。たとえば、‘窃’の俗字が『目蓮記』『金瓶梅』では“竊”となっている。」とある。これら異なる時代、異なる版の中国古典の文献は日中双方に大きな影響を持ち、その中で使用されている俗字も双方にながしかの影響をもたらしたのであろう。

佐藤喜代治は昭和63年『漢字とは』p170で、次のように述べた。『干祿字書』によれば、「碁」と「碁」

とは同一の字で、「碁」は通用、「碁」が正字である。「説文解字」には「碁」があるが、「碁」は見えない。「碁」を、わが国では一般に「碁」と書いて、「将碁」という熟語として用いるが、「碁」または「困碁」とは区別している。また、「準」と「准」も同一の字で、「準」が正字、「准」は通用の字であるが、わが国では、「準」は「準備」「標準」というに用い、「准」は「ならう」と読み、「准ずる」とも用いる。「華」と「花」、「嬢」と「娘」、「着」と「著」、「笑」と「咲」も、それぞれ同一の字であるが、今区別している。』

異体字ができた原因として、王招曾、羅青は1989年『漢字の変遷』で、「表意文字の作り方にはいろいろな方法があり、異なる人物が、異なる角度から、異なる作り方をうければ異体字は生まれる」と言及している。

常用漢字表の60の異体字と中国簡体字の関係を筆者は次の4種に分類する。

- 1) 形声文字で、表音部が同じで、表意部が異なるもの

恥——耻 勅——敕 雰——氛 跡——迹  
減——減 淨——净 決——決 況——况  
涼——凉 脈——脉 砲——炮 舗——铺  
岐——歧 碁——棋 砂——沙 収——收  
託——托 効——效 詠——咏 遊——游  
搾——榨

- 2) 形声文字で、表意部が同じで、表音部が異なるもの

霸——霸 查——查 沈——沉 彫——雕  
倣——仿 掛——挂 瀬——瀬 線——线  
馱——馱 汚——污 煙——烟 強——强  
窯——窑 姉——姊

- 3) 形声文字で、表意部、表音部ともに異なるもの  
 傍（人が表意、旁が表音）— 旁（方が表音）  
 誌（言が表意、志が表音）— 志（心が表意、士が表音）  
 癒（病が表意、愈が表音）— 愈（心が表意、俞が表音）

4) 異なった作り方を採用したもの

次の5類型にまとめられる

①日本は形声，中国は象形

併——并 傑——杰 鬪——斗 菓——果

昇——升

②日本は形声，中国は会意

採——采 涙——泪 戲——戏 粧——妝

③会意文字だが，形状が異なる

吊——吊 並——并 氷——冰 乘——乘

窓——窗 暈——叠 災——灾

④日本は象形，中国は形声

異——异

⑤象形文字だが，形状が異なる

冊——册

以上の比較分析から、日中両国の漢字字形における基本的な違いや関係が理解できる。漢字を学習する

過程で、中国語を学習する日本の学生であれ、日本語を学習する中国の学生であれ、これらの違いや関係をはっきりと理解する必要がある。漢字の読み書きを正確に行うためには、特に両国漢字の違いや関係の分類の特徴をしっかりと把握することが大切である。

参考文献

日本『常用漢字表』本表

唐磊主編『現代日中常用漢字対比詞典』北京出版社  
1996. 1

高更生『漢字研究』山東教育出版社 2000. 5

周有光『語言文字学的新探索』語文出版社 2006. 11

劉復『宋元以来俗字譜』文化書房博文社 昭和 43  
(1968) . 11

佐藤喜代治『漢字とは』明治書院 昭和 63 (1988) . 5

王紹曾・羅青『漢字的演變』山東教育出版社

1989. 12

瀋錫倫『常用漢字正形手冊』上海教育出版社 2007. 2

何群雄『漢字在日本』商務印書館 2001. 4

張起旺・王順洪主編『漢外語言対比与偏誤分析論文集』

北京大学出版社 1999. 5